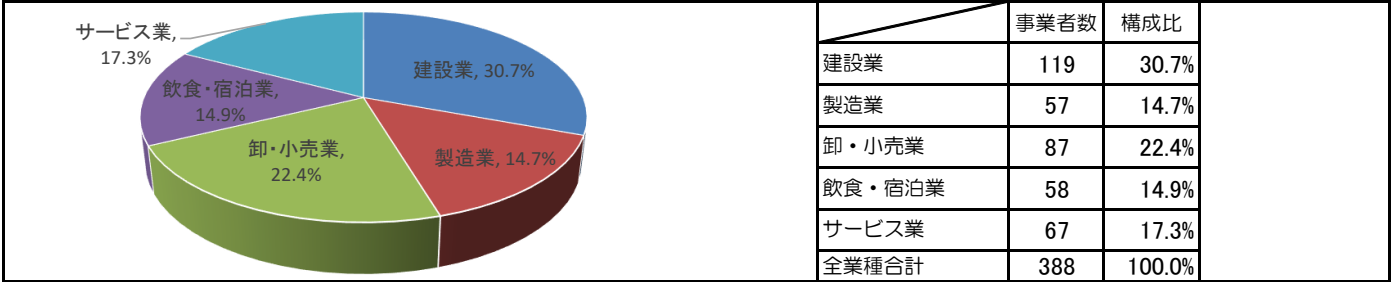


十日町市地域 企業景況調査 第3四半期報告書 (R3.10.1~R3.12.31) 川西地区

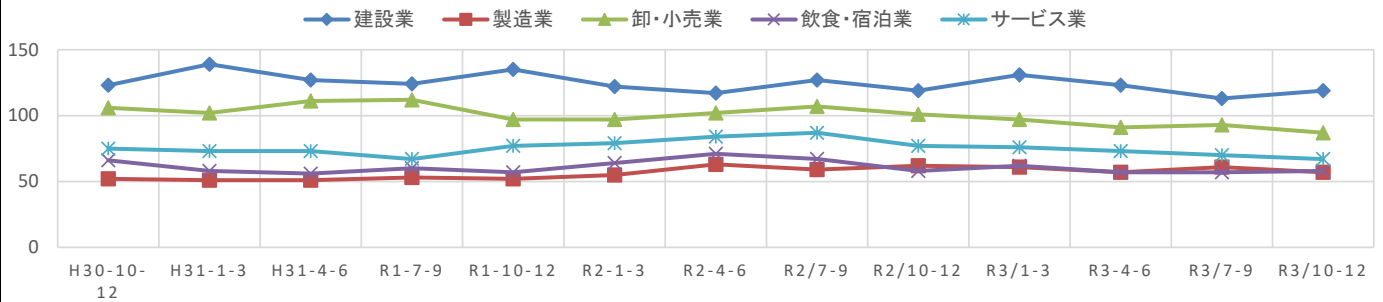
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



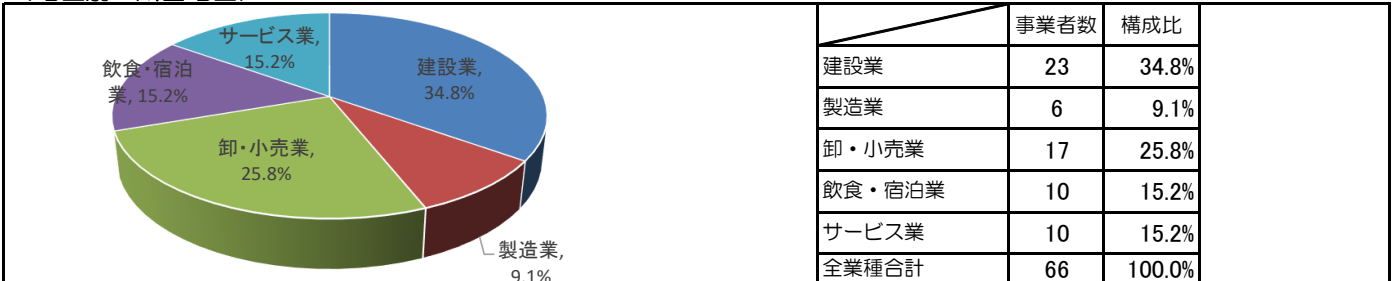
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



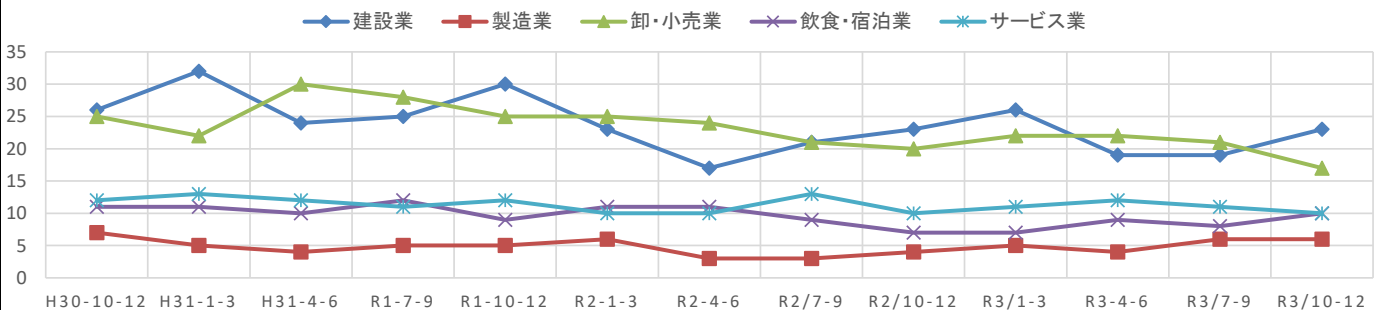
<コメント>

今回の調査は、十日町市内388事業所から回答を得られ、前回調査よりも6事業者減少している。製造業と卸・小売業、サービス業において減少があったものの、構成比については大きな差はないものとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

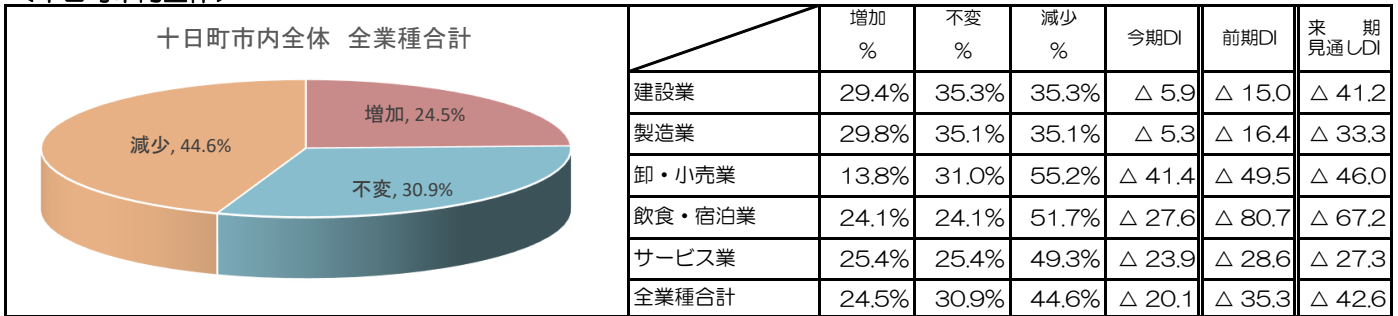
川西地区の事業割合は商工業者100社に調査依頼をし、66社(回収率66%)からの回答をもとにした集計結果である。回答数及び回答割合については建設業で増加、卸・小売業では減少した。これに伴い、構成比も2業種で入れ替わり、今回調査では建設業が最も構成比が高くなっている。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

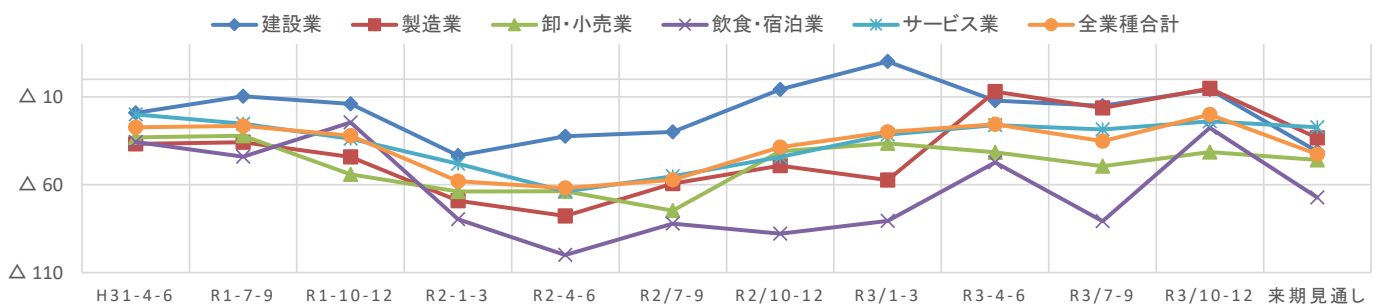
1. 売上について

- ・10月～12月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



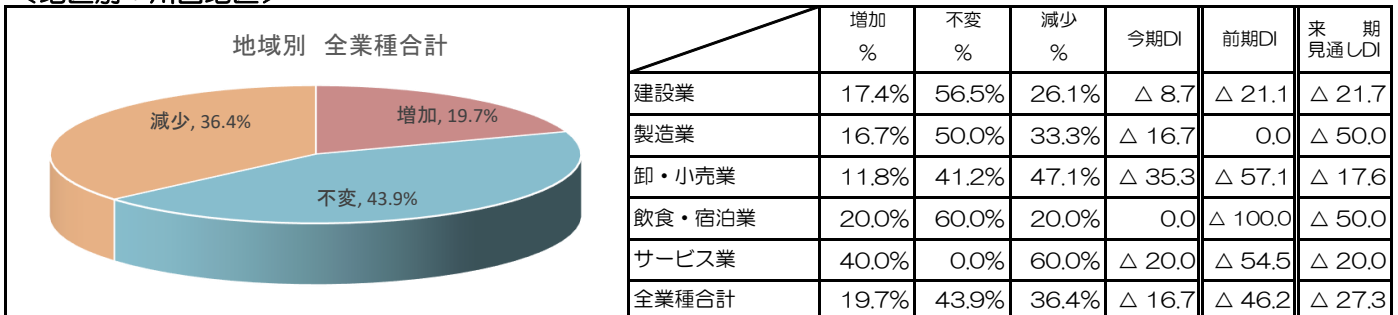
業種別売上の推移（市内全体）



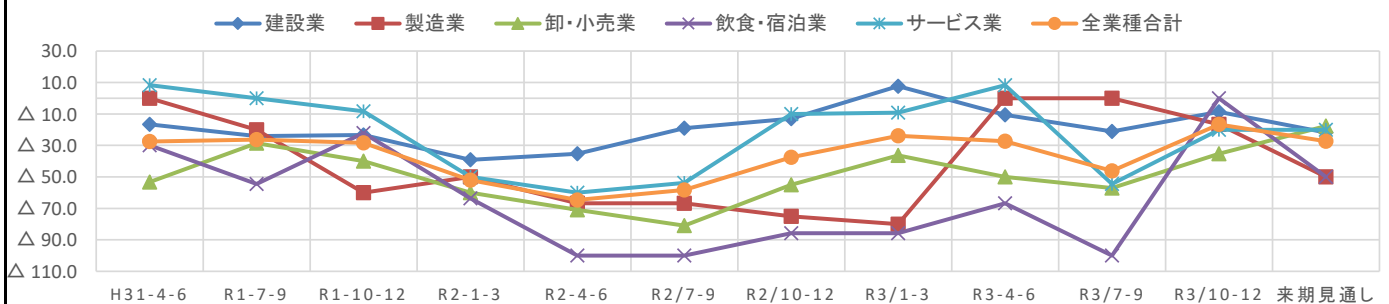
<コメント>

十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△20.1ポイントで、前回調査時よりも15.2ポイント上昇となっている。全業種が増加する中、特に飲食・宿泊業の割合が大きくなっている。来期見通しでは、コロナ関連に伴う先行き不透明感があるものと思料され、全業種で低下予測となっている。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移（地区別）



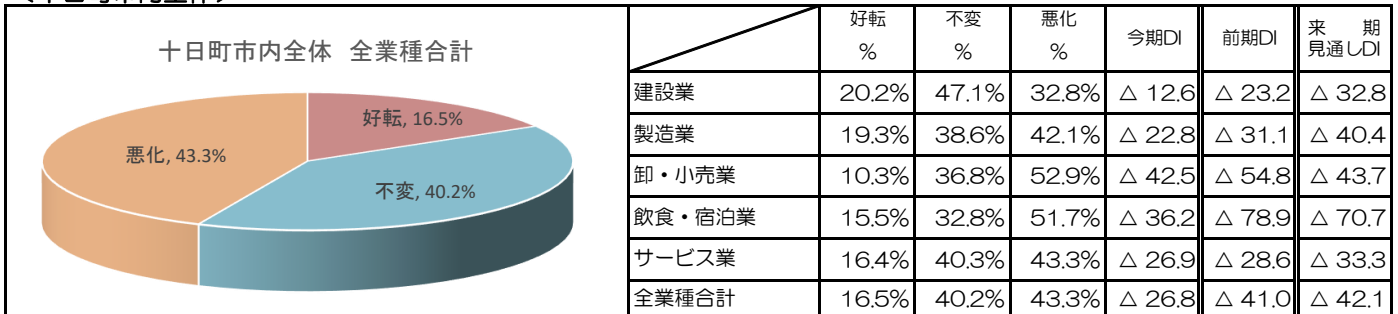
<コメント>

川西地区の今期の売上状況は全業種合計で△16.7ポイントとなっており、前回調査時と比較して29.5ポイント増加している。製造業を除く全業種で増加している中、飲食・宿泊業で特に増加幅が大きくなっている。来期については、卸・小売業では増加予測となっているが、建設業、製造業、飲食・宿泊業では減少予測となっており、全業種合計でも若干の減少予測となっている。

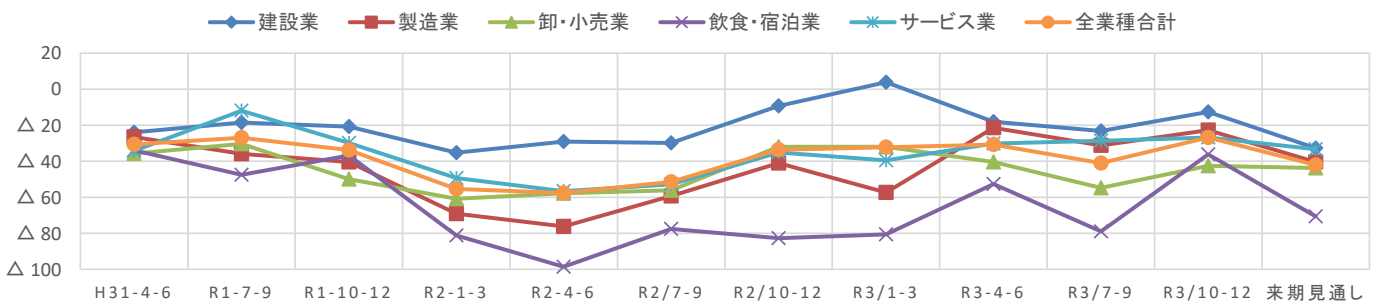
## 2. 採算について

- ・10月～12月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>



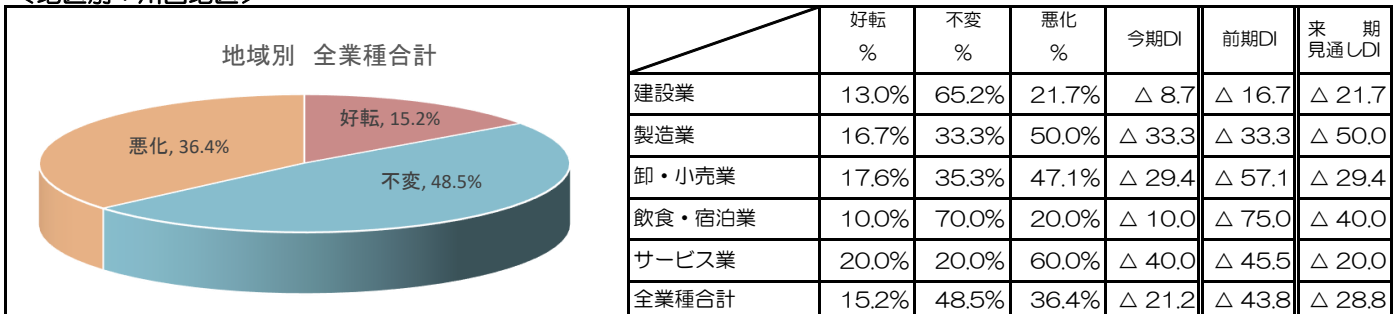
### 業種別採算の推移(市内全体)



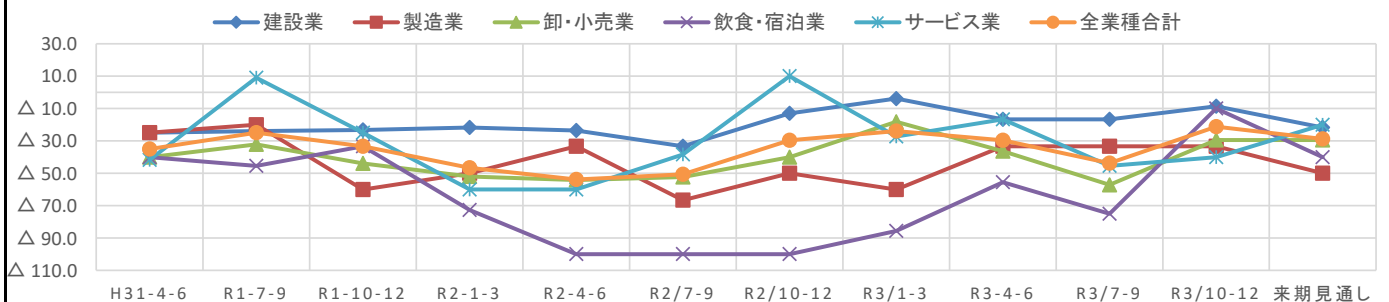
#### <コメント>

十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△26.8ポイントで、前回調査より14.2ポイント改善している。全業種において改善され、特に飲食・宿泊業の割合が大きくなっている。しかし、来期見通しでは、全業種が悪化予測の中、特に飲食・宿泊業の割合が高く、全業種DI値についても悪化見通しとなる。

### <地区別：川西地区>



### 業種別採算の推移(地区別)



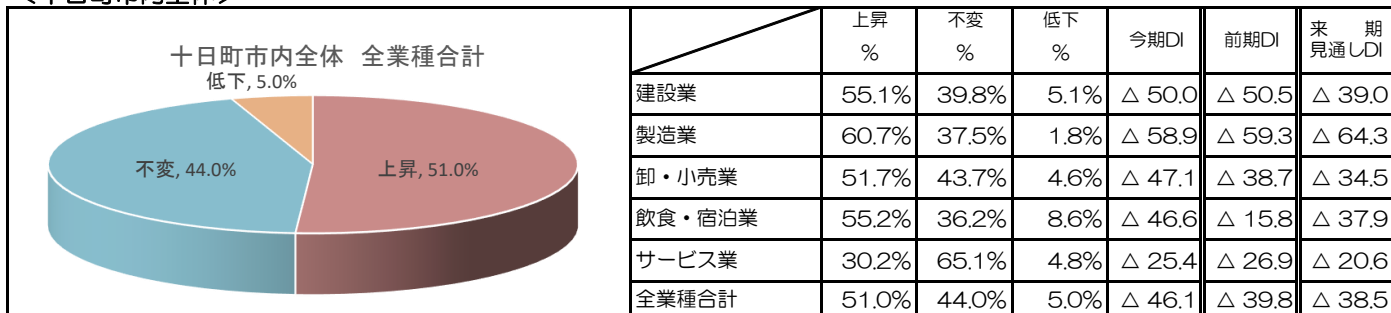
#### <コメント>

川西地区の採算状況は、全業種合計で△21.2ポイントとなっており、前期と比較して22.6ポイント好転している。製造業以外の全業種で好転しており、特に飲食・宿泊業で大幅に回復している。来期については、卸・小売業では横ばい、サービス業では好転予測となっているものの、その他の業種で悪化予測となっており、全体でも若干の悪化予測が見られた。

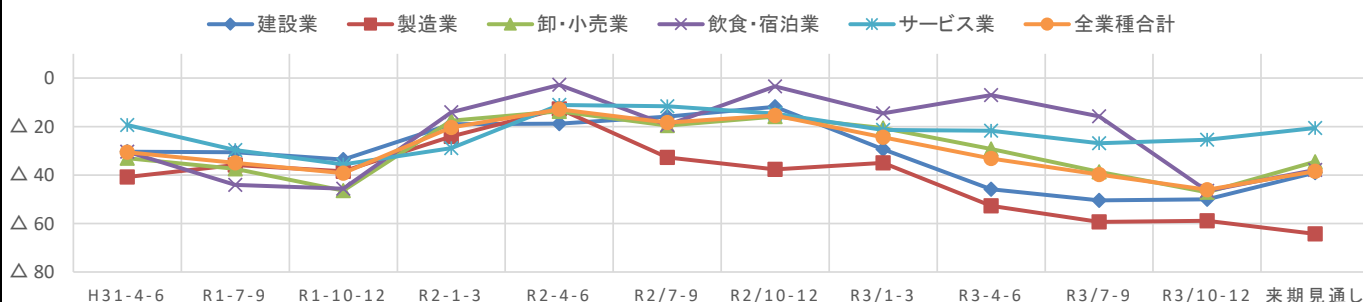
### 3. 仕入単価について

- ・10月～12月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <十日町市内全体>



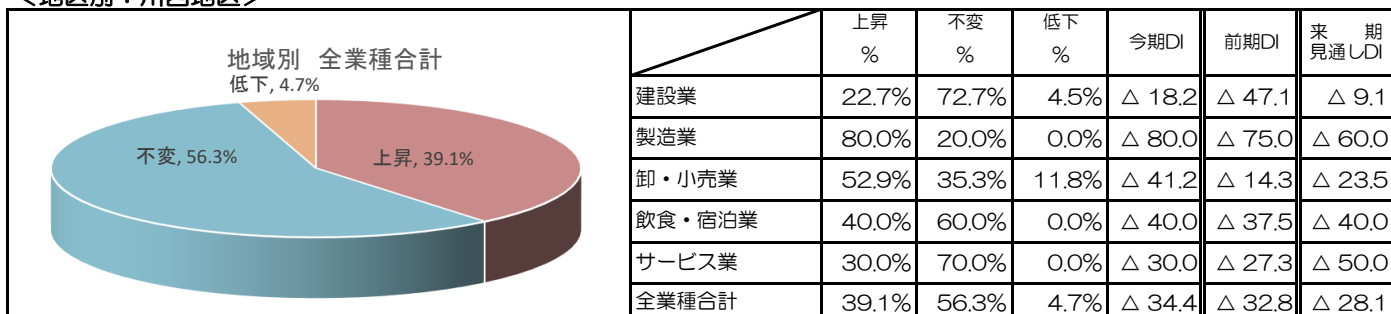
#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)



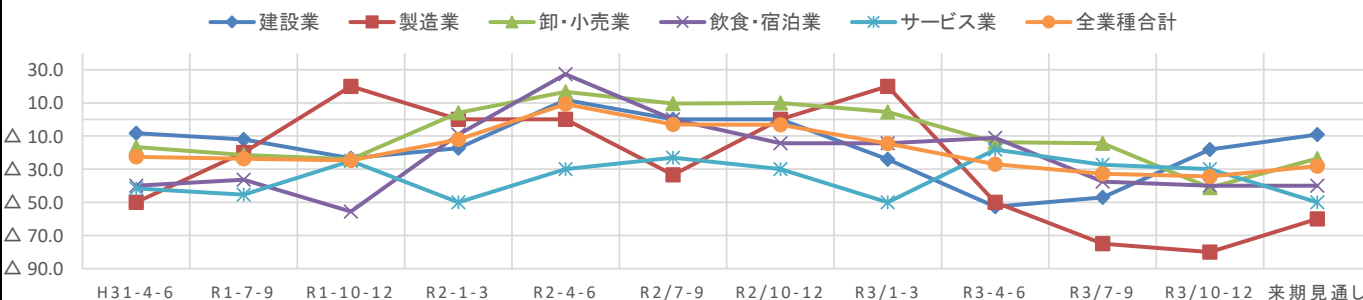
#### <コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△46.1ポイントで、前回調査時よりも6.3ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。卸・小売業、飲食・宿泊業で仕入単価の上昇が目立った。来期見通しとしては、製造業以外の業種で仕入単価が低下する予測となり、全業種DI値においても仕入単価低下の見通しである。

#### <地区別：川西地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)



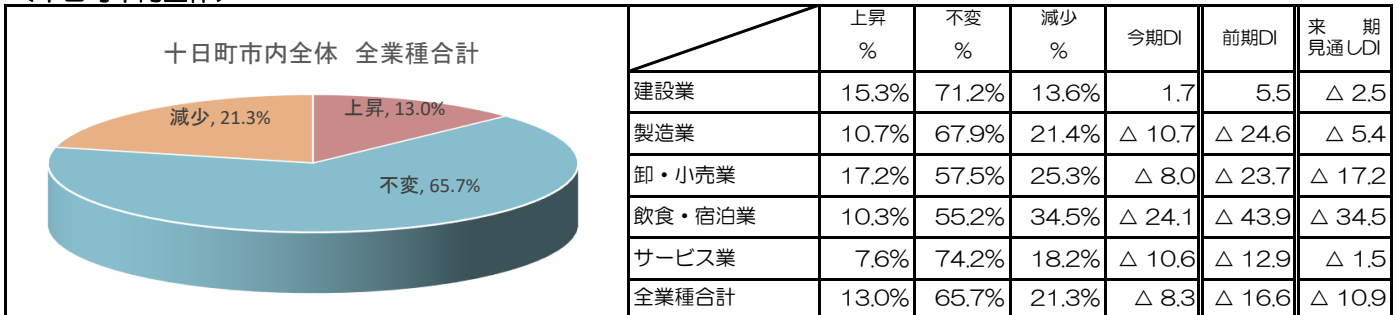
#### <コメント>

川西地区の仕入単価状況は、全体で△34.4ポイントとなっており、前回調査時から大きな変動はないようである。業種別に見てみると、建設業では上昇が見られたが、その他の業種では低下が見られた。来期についても、全体では大きな変動はないとの予測となっている。業種別では建設業、製造業、卸・小売業で上昇予測となっており、サービス業では低下予測となっている。

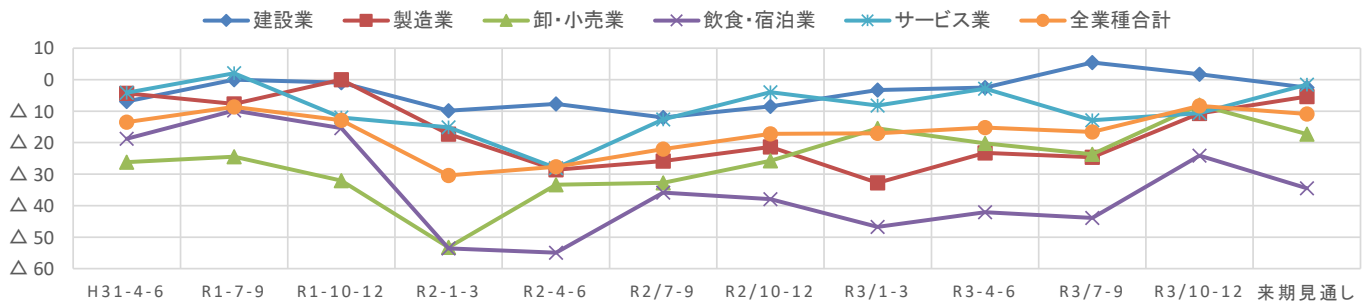
#### 4. 販売（客）単価について

- ・10月～12月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <十日町市内全体>



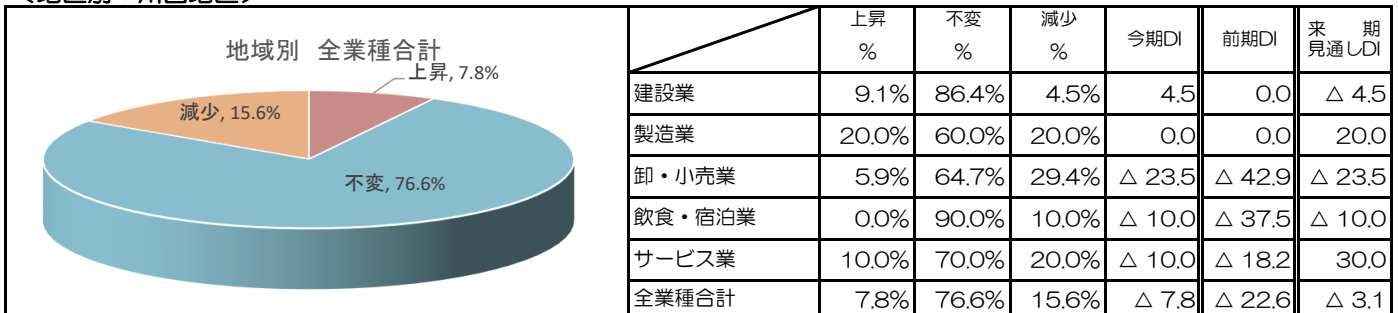
#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



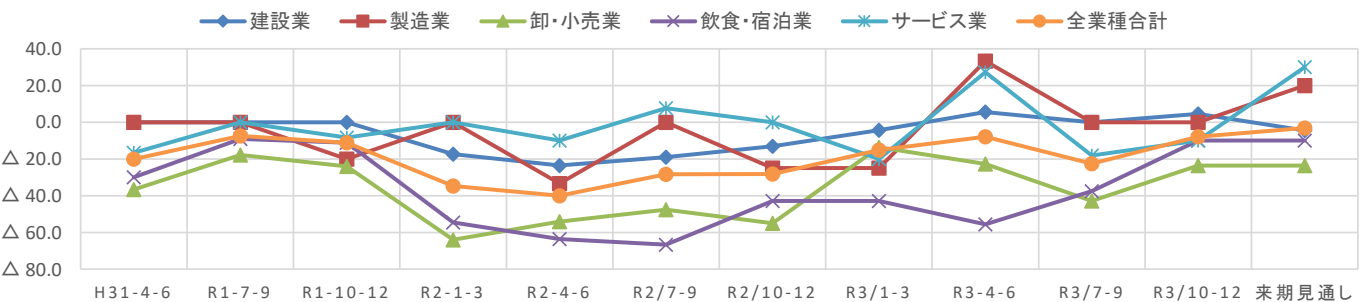
##### <コメント>

十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△8.3ポイントで、前回調査時より8.3ポイント上昇している。建設業以外の業種が軒並み数値が上昇している。来期に関しては、製造業、サービス業で上昇予測となるが、その他の業種では、低下予測となる。また、全業種DI値も低下する見通しとなっている。

##### <地区別：川西地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）



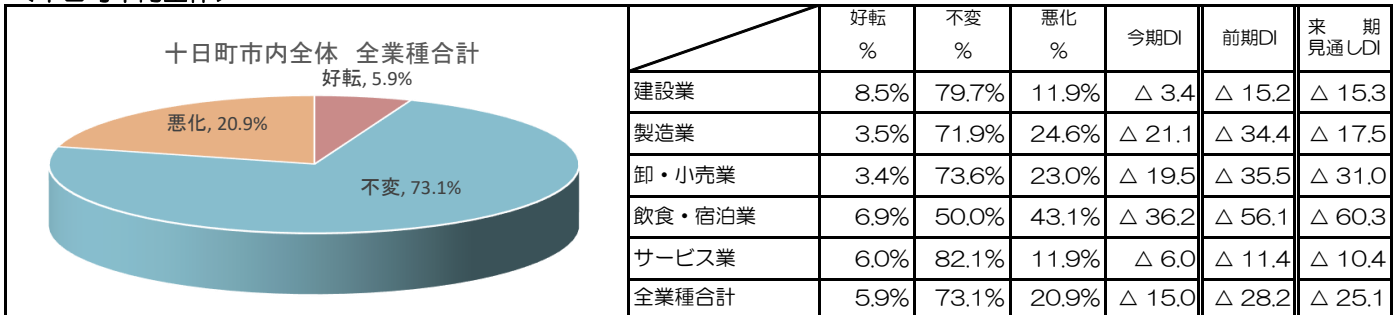
##### <コメント>

川西地区の販売（客）単価の状況は、全業種合計で△7.8ポイントとなっている。前期と比較して14.8ポイント上昇しており、製造業以外の全業種で上昇が見られた。来期については、建設業では減少が見られるものの製造業、サービス業で上昇が見られ、全業種合計でも今期と比較して若干上昇している。

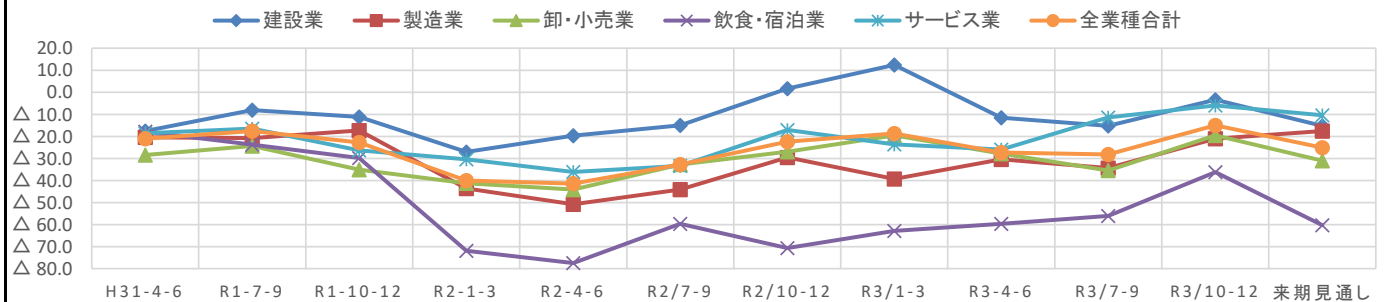
## 5. 資金繰りについて

- ・10月～12月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>



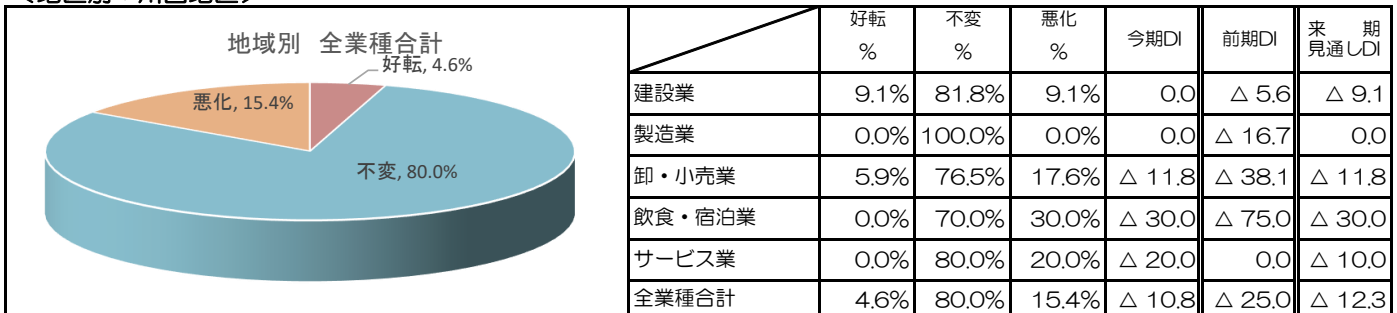
### 業種別資金繰りの推移(市内全体)



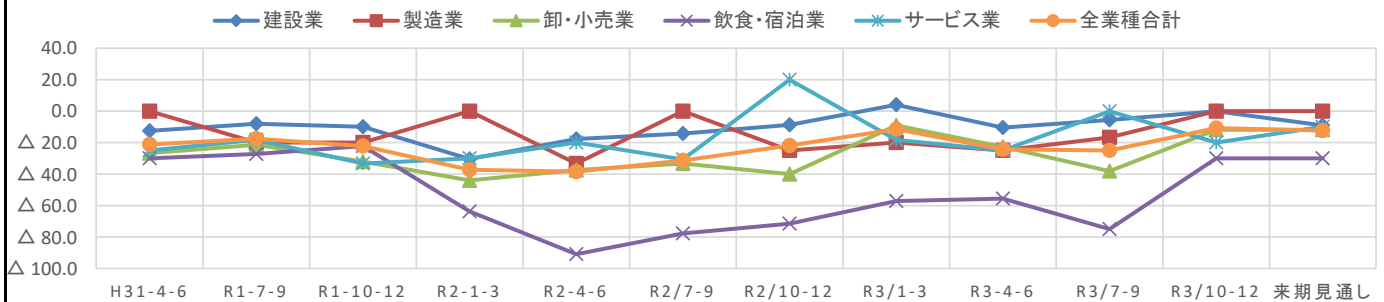
#### <コメント>

十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△15.0ポイントで、前回調査時より13.2ポイント改善している。全業種において改善が見受けられる中、特に飲食・宿泊業の割合が大きくなっている。来期見通しとしては、製造業が若干の改善予測であるが、その他業種では、悪化予測となる。また、全業種DI値についても悪化する見通しとなる。

### <地区別：川西地区>



### 業種別資金繰りの推移(地区別)



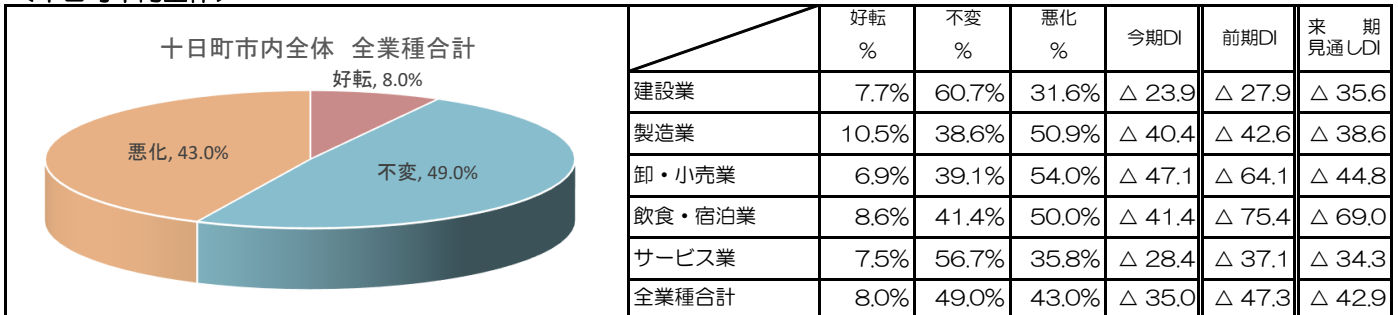
#### <コメント>

川西地区の資金繰りの状況は、全業種合計で△10.8ポイントとなっており、前期から14.2ポイント好転している。サービス業では悪化が見られたものの、その他の業種では好転が見られた。特に飲食・宿泊業で回復が見られた。来期の見通しについては、建設業で若干の悪化、サービス業で若干の好転がみられるが、全体として今期から大きな変動はないと予測となっている。

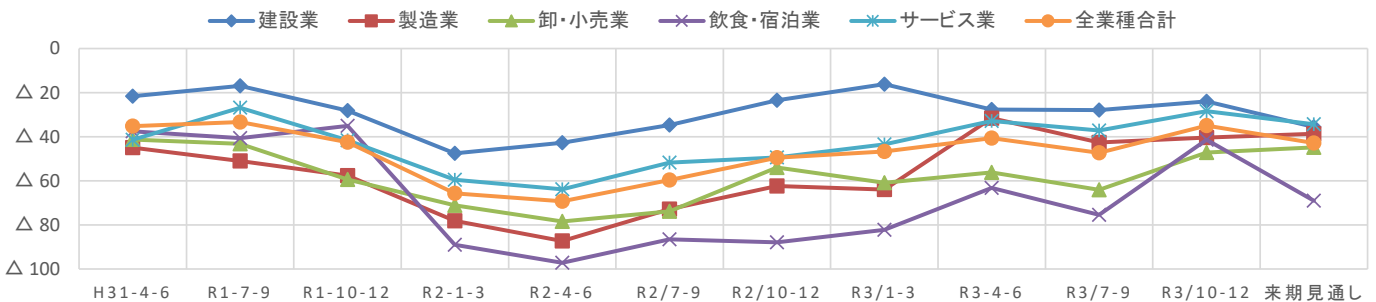
## 6. 景況判断について

・10月～12月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>



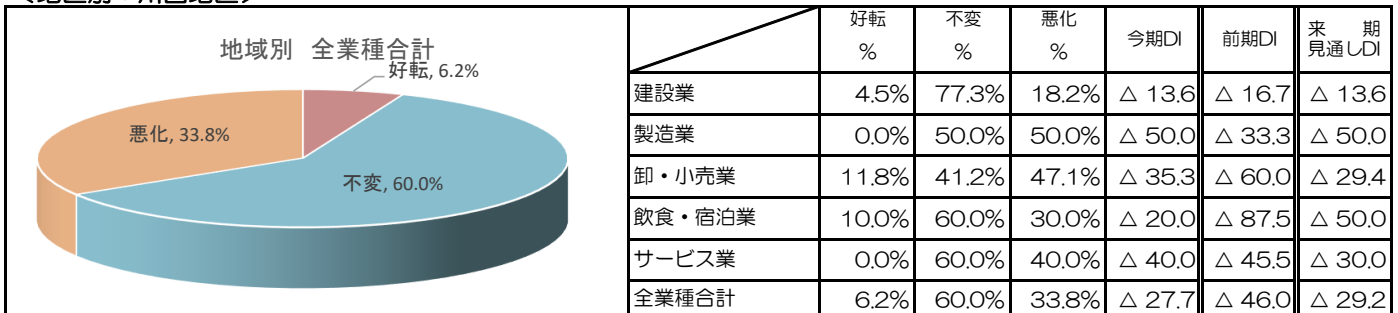
### 業種別景況判断の推移(市内全体)



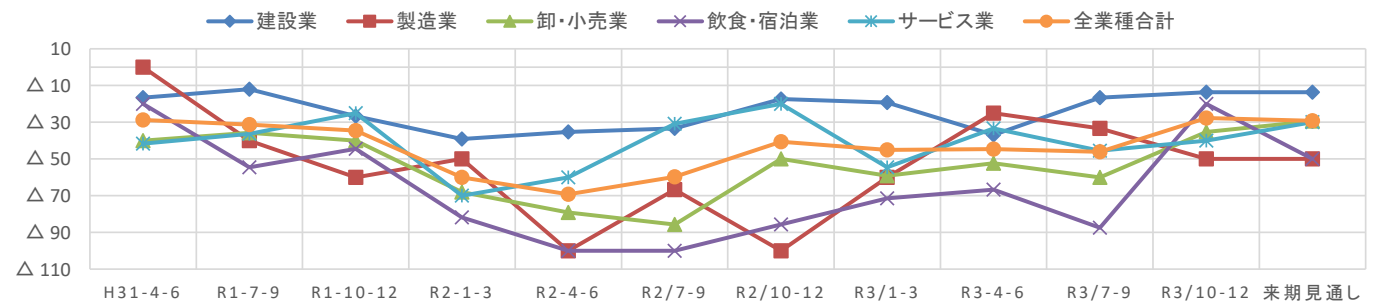
#### <コメント>

十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△35.0ポイントで、前回調査時よりも12.3ポイント改善している。全業種において改善が見受けられる中、特に飲食・宿泊業の割合が大きくなっている。来期見通しは、コロナ関連の先行き不透明感がある中、原料や燃料の高騰も懸念されると思われ、製造業、卸・小売業以外の業種で悪化予測となり、全業種DI値についても悪化する見通しである。今後の動向に注視したい。

### <地区別：川西地区>



### 業種別景況判断の推移(地区別)



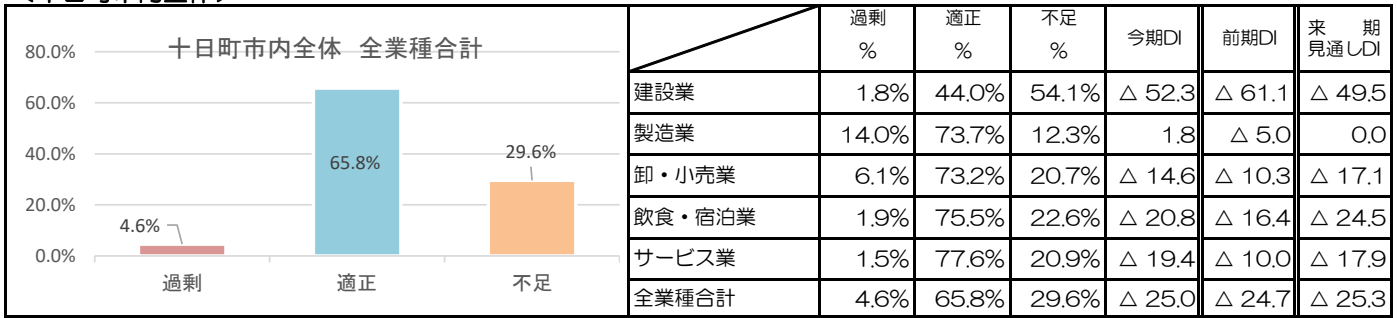
#### <コメント>

川西地区の景況判断は全体では△27.7ポイントで、前回調査時より18.3ポイント好転している。製造業では悪化が見られたが、その他の業種では回復が見られた。特に、飲食・宿泊業では大幅な回復が見られた。来期見通しは、飲食・宿泊業については悪化回答が見られたが、その他の業種では今期から大きな変動はないとの予測となっていることから、全体についても大きな変動はないと予測されている。

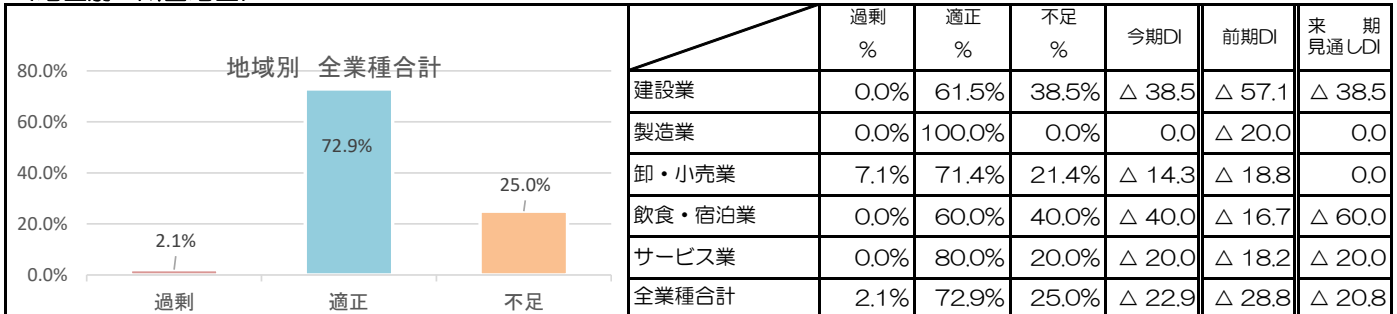
## 7. 従業員数について

- ・10月～12月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>



### <地区別：川西地区>

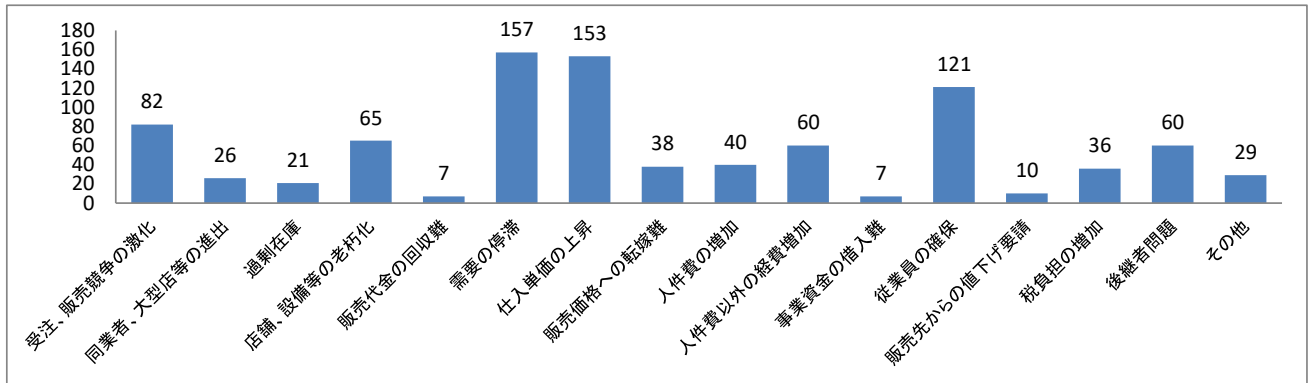


### <コメント>

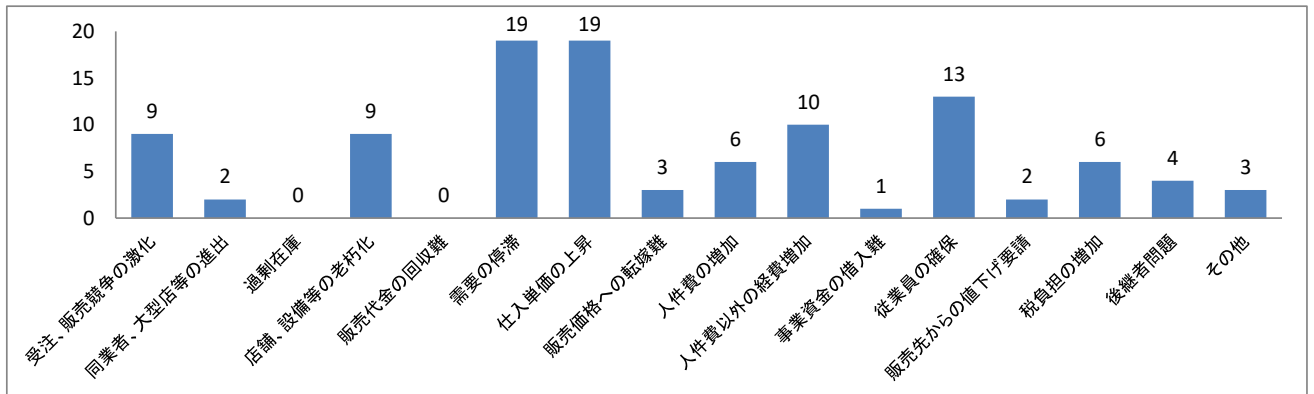
今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が0.9%減少、不変回答が1.6%増加、不足回答が0.7%前回調査時よりも減少している。川西地区の状況は、不足回答が3.8%減少しており、前回調査時にはなかった過剰回答が見られた。特に飲食・宿泊業の不足回答が前回調査時と比較して増加しており、来期見通しでは今期以上の不足が予測されている。

## 8. 経営上の問題点(上位3つ)：10月～12月

### 十日町市内全体 全業種合計



### 地域別 全業種合計



### <コメント>

今回調査での経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」、2位が「仕入単価の上昇」、3位が「従業員の確保」、4位が「受注、販売競争の激化」と変わらなかった。川西地区の経営上の問題上位3位までは、1位が「需要の停滞」と「仕入単価の上昇」であり、前回の上位2項目が挙げられている。2位の「従業員の確保」と3位の「人件費以外の経費増加」については、前回調査時から順位をあげた。



## 9. 地区の景況概要

・10月～12月時点での全体概況は

<p><b>【建設業】</b> 建設業においては、経営上の課題として「仕入単価の上昇」をあげる事業所が最も多い結果となった。仕入単価についての設問においても、上昇回答の割合が増加していることがわかる。また、従来より課題となっていた「従業員の確保」については、雇用動向に関する設問において不足回答が減少しており、若干改善が見られたようである。一方で、今回調査においても「仕入単価の上昇」に次いで2位にあげられていることから、いまだ大きな課題であることも伺える。</p>
<p><b>【製造業】</b> 製造業においては、前回は課題としてあがっていた「需要の停滞」に加えて、「仕入単価の上昇」が1位としてあげられた。仕入単価についての設問でも、前回調査と比較して上昇回答が増加している。また、「店舗、設備等の老朽化」、「人件費以外の経費の増加」についても経営上の課題にあがっており、多方面に課題を抱えているように見受けられる。</p>
<p><b>【卸・小売業】</b> 卸・小売業では、仕入単価については減少、その他の項目については増加や好転が見られ、全体的に回復が見られたようである。一方で、経営上の課題として前回調査に引き続き、「需要の停滞」が1位にあがっており、現在も課題として残っていることが伺える。その他「受注、販売競争の激化」や「従業員の確保」も課題としてあがった。</p>
<p><b>【飲食・宿泊業】</b> 飲食・宿泊業においては、売上を含む多くの項目で大幅に数値の上昇が見られた。ただし、好転回答は少なく、不変回答が多くを占めている。前回調査において悪化回答が非常に多かったことから、今回調査では大幅に数値が改善したものと思われる。また、今回調査では、従業員数について不足回答が目立っており、来期ではさらに不足するとの予測となっていることから、重要課題の1つとなっている考えられる。</p>
<p><b>【サービス業】</b> サービス業においては、「需要の停滞」が1位にあがっており、前回調査時より継続して最重要課題となっているようである。また、売上について特に増加が見られ、その他の多くの項目についても若干の数値の改善が見られた。一方で、資金繰りについては悪化が見られた。</p>